

しゅん 春 か 夏 しゅう 秋 とう 冬

《冠婚葬祭（红白祭事）》守夜与葬礼

这次给大家介绍一下冠婚葬祭中的“葬”（白喜）。

本来，守夜是遗属、近亲及好友等与死者有着密切关系的人聚在一起，为驾鹤西去之人守夜，并依依不舍地与其作最后道别、同时也为安慰死者灵魂以及死者遗属而进行的。因此，参加守夜的人，原本也是要出席葬礼・告别仪式的。另外，若是与死者生前关系不是十分密切，那么正确的礼仪是不参加守夜，而只是出席告别仪式。出于各种原因而无法出席葬礼、无奈下只能参加守夜的话，那么给死者烧完香之后，一般都尽快离开。

守夜从下午 6~7 点左右开始，僧侣念经、遗属、亲属及其他参加者依次焚香，这些时间加起来一般是一个小时左右。一般要在仪式开始前到达殡仪馆，先在记名处登记姓名，同时递呈奠仪。然后遵从主管人的指示，依次排队焚香。焚香完毕之后，领取配备成套的送殡谢函、奠仪答谢品及去污避邪的咸盐，然后离开殡仪馆。丧主若是挽留你进祭餐（为供奉死者、答谢送殡及去污避邪而摆设的宴席）的话，请不要推托，而是到座位上去，哪怕吃一口也是礼仪。只是要注意千万别长时间地呆着不走。



葬礼・告别仪式

本来，葬礼只是由遗属、近亲及好友等与死者有着密切关系的人参加、举行的。因

《冠婚葬祭》通夜と葬儀（つやとそうぎ）

今回は、冠婚葬祭の「葬」についてご紹介いたします。

本来は、通夜は遺族、近親者、親しい友人など、故人と深いかわりを持つ人たちが集まり、夜通し故人との最後の別れを惜しみ、故人の霊と遺族を慰めるためのものです。したがって、通夜に出席した人は、葬儀・告别式にも出席するのが本来の形です。また、特に親しい関係でない人は、通夜には出席せず、に告别式のみ出席するのが正しいマナーですが、都合により告别式に出席できないため、やむを得ず通夜だけに出席する場合は、焼香がすんだら早めに引きあげるようにします。

通夜は、午後 6~7 時頃から始まり、僧侶の読経と遺族・親族・その他の出席者の焼香とで合計 1 時間程度が一般的です。式場には開始時刻前に到着し、受付で記帳し、香典を差し出します。その後、係の案内に従って順次焼香します。焼香後に、会葬礼状・返礼品・お清めの塩のセットをいただいて帰りますが、通夜ぶるまいの席（故人の供養、会葬のお礼、お清めのための席）を勧められた場合は、遠慮せずに席に着き、一口でもハシをつけるのが礼儀です。ただし、あまり長居をしないよう注意しましょう。

葬儀・告别式

本来は、葬儀は遺族、近親者、親しい友人など、故人と深いかわりを持つ人だけで行わ

此,其他人只须出席葬礼结束后的告别仪式即可。但葬礼和告别仪式若是连续进行的话,则应该自葬礼就参加。葬礼与守夜相同,先在记名处登记姓名、递呈奠仪(在守夜时已递过奠仪的人,只需记名即可)之后遵从主管人的指示,依次排队焚香。焚香完毕之后,在原地等候,目送灵车出殡。出殡前,等丧主及死者亲属代表讲完话、灵车开动时,要低头、双手合十,为灵车送行。当灵车及死者亲属乘坐的车辆开远后,再安静地离开殡仪馆。

另外,若是丧主请求你一同前往火葬场的话,尽可能地予以应允,这也是一种礼仪。

神道式・基督教式葬礼

以上所介绍的是在日本最为普遍的佛教形式的葬礼,除此之外,有时也举行诸如神道式及基督教式等其它形式的葬礼。与佛教形式的葬礼有着不同之处的主要葬祭形式,有以下几种。

〔神道式葬礼〕

不焚香,而是代之以供奉玉串。所谓玉串,是指在杨桐树枝上缠上一种叫做“四手”的纸条而做成的祭神物。然后将玉串献于祭坛前的祭台上。

〔基督教式葬礼〕

不焚香,而是代之以献花。走上祭坛,一鞠躬、之后双手接过鲜花,将其献于祭坛前的祭台。



れるものです。したがって、一般の人は葬儀の後に^{あと}行われる告別式のみ^{つづ}に出席するものです。が、葬儀と告別式が^{つづ}続けて行われる場合には、葬儀から出席するようにします。通夜と同様に^{どうよう}受付で記帳し、香典を差し出します(通夜の時に^{とき}香典を差し出している場合は、記帳だけします)。その後、係の案内に従って^こ順次焼香します。焼香後は、その場に^{ば のこ}残って出棺^{しゅつかん}を見送る^みようにします。出棺前の喪主や親族代表^{ひょう あいさつ お}の挨拶^{れいきゅうしゃ うご}が終わり、霊柩車^だが動き出した^{あたま さ}ら頭^{がっしょう}を下げ合掌^さして見送ります。霊柩車、遺族などの乗った車^の両^{しゃりょう}が見えなくなった^{あと}後、静かに退^{しず}出^{たいしゅつ}します。

なお、火葬場への同行を依頼^{かそうば どうこう いらい}された場合には、できるだけ同行するようにするのが礼儀です。

神式・キリスト教式(しんしき・きりすときょうしき)の葬儀

以上の説明は、日本で最も多く行われている^{いじょう せつめい にほん もっと おお}仏式^{ぶつしき}について記述^{きじゆつ}したのですが、このほかにも神式、キリスト教式などで行われる場合もあります。仏式と異なる^{こと}点^{てん}で主なもの^{おも}は、以下のとおりです。

〔神式〕

仏式の焼香に代えて、玉串奉奠(たまぐしほうてん)を行います。玉串とは、^{さかき えだ}榊の枝に四手(しで)と呼ばれる^よ紙片^{しへん}を^つつけたものです。この玉串を祭壇の^{さいだん}前の^{まえ}台^{だい}に^{ささ}げます。

〔キリスト教式〕

仏式の焼香に代えて、献花(けんか)を行います。祭壇の前に^{すす}進み、一礼^{いちれい}して花を^{はな}両手^{りょうて}で受け取り、祭壇の^う前の^と台^{だい}に捧げます。

奠儀礼封の书写形式及奠儀金額

奠儀，需要用符合各人宗教习惯的丧事封来包裹递呈。至于丧事封的书写形式，若是按照佛教习俗的话，就写上“御香典”或“御香料”；若是按照神道习俗的话，就是写上“御玉串料”或“御榊料”；若是按照基督教习俗的话，就是写上“御花料”等。另外，写有“御零前”字样的奠儀封，适用于任何一种宗教形式，但其中画有莲花模样的封袋，只限于佛教形式的葬礼，这一点敬请留意。

至于奠儀的金额，则因自身年龄及与对方的交往程度而各不相同。若对方是同事或朋友及其家人、邻居及街坊四邻的话，那么无论自己的年龄多大，一般都是递呈 5,000 日元(20~29 岁是 3,000 日元)。相反，对方若是自己亲戚，奠儀金额便会发生极大的变动，具体数额如下：

对方	自 己 的 年 龄			
	20~39 岁	40~49 岁	50~59 岁	60 岁以上
祖父母	1 万日元	1 万日元	3 万日元	—
父母	5 万日元	10 万日元	10 万日元	10 万日元
兄弟姐妹	3 万日元	5 万日元	5 万日元	5 万日元
叔伯舅 姑婶姨	1 万日元	1 万日元	3 万日元	3 万日元
其他	1 万日元	1 万日元	1 万日元	2 万日元

要是无论如何都无法参加守夜或告别仪式・葬礼的话，最好是请人代为递呈奠儀。要是这样也难以办到的话，可将奠儀装进奠儀封里，以挂号汇款的形式邮寄给丧主。这时还需要同封寄上一封致哀及无法出席守夜和葬礼的致歉信才行。

一般在葬礼过后三十五或四十九天(除服后)，会收到寄自丧主的奠儀答谢和致谢函。而收到后不 予 回 信，乃为礼仪。



香典の表書きと金額

香典は、相手の宗教に合わせた不祝儀袋に包んで差し出します。香典袋の表書きは、仏式では「御香典」、「御香料」、神式では「御玉串料」、「御榊料」、キリスト教式では「お花料」などとします。また、「御霊前」は、相手の宗教にかかわらずに使えますが、蓮の絵柄つきのものは仏式に限られますので、注意しましょう。

香典の金額は、自分の年齢や相手との関係によって異なりますが、職場関係の人、友人やその家族、隣・近所の人に対しては、自分の年齢にかかわらず 5,000 円(20代のみは 3,000 円)が一般的です。一方、相手が親戚の場合には、次のように大きく異なります。

相手	自 分 の 年 齢			
	20~30代	40代	50代	60代~
祖父母	1 万円	1 万円	3 万円	—
父母	5 万円	10 万円	10 万円	10 万円
兄弟姉妹	3 万円	5 万円	5 万円	5 万円
おじ・おば	1 万円	1 万円	3 万円	3 万円
その他	1 万円	1 万円	1 万円	2 万円

どうしても、通夜と告别式・葬儀の両方にも出席できない場合には、代理の人に依頼して香典を届けてもらいますが、それも無理な場合は、香典を不祝儀袋に入れて現金書留により郵送します。その際には、お悔やみと出席できないことへのお詫びの手紙を同封します。

葬儀から三十五日や四十九日の忌明けに合わせて、香典返しが挨拶状とともに送られてくるのが一般的ですが、これに対して礼状は出さないのが礼儀です。